

児童・生徒の部

《最優秀賞》

安心できる未来

高美中学校 一年二組 木村 恵 音

私はこの先、高齢者が今よりもっと安心出来て、豊かな生活を送れるような社会にしたいです。

そう思うようになったきっかけは二つあります。その一つ目は、高齢者への親切さが足りないと思った事と、もう一つのきっかけは、高齢者が危険な目にあっているのを見た事です。

自転車に乗っていて周りを見ていなかった若者が、高齢者とぶつかりそうになった現場を偶然見ました。その現場を見て私は、なぜちゃんと交通ルールを守っている高齢者が事故にあいそうになるんだろうと怒りがわいてきて、若者の注意が足りないと

思いました。こういう事故を防ぐために、自転車に乗りながらスマホや音楽を聞く事、タバコを吸う事、二人乗りなどの危険な事をしている人に注意をしていきたいです。

また、最近では高齢者に電車の席をゆずるのは、絶対というルールではないだろうと言う人も増えていくかもしれません。そして、席をゆずらない人が悪い人というわけでもありません。事故でケガをした人や、妊娠している人だっているのですから。しかし、以前私は母と電車に乗っている時に、こういう場面を見かけました。私は席に母と座っていて、目の前に妊婦さんと席に座っている高齢者の人がいました。私が席をゆずろうかと思ったその時、高齢者の人が立ち上がり、妊婦さんに席をゆずったのでした。その時私は、すごく親切なんだという気持ちと申し訳ない気持ちでいっぱいでした。ほかの乗客の人は、読書やスマートフォンに夢中で二人の行動

を見ている人はあまりいませんでした。私は、その時電車ではスマートフォンなどを使うのはあまりよくないとすごく言いたかったです。その理由は、困っている人がいてもその事に気付けないからです。その後、私はその高齢者の方に声をかけて、席をゆずりました。その時に高齢者の方に「こんなに若いのにすごく立派で親切で優しいからめずらしいね」と言われてうれしかったのですが、めずらしいと言われた時はすごく残念でした。めずらしいという事は親切な人があまりいないという事だと私は思いました。でも、お婆さんのほうが親切で優しいと思いました。その理由は、お婆さんだって座りたいと思うのに、人に席をゆずったからです。その時私はもつと少しづつでもいいので高齢者にもつと親切に出来る未来を作りたいと思いました。そのために私は、

もつと高齢者の方だけではなく、ほかの人にも親切でありたいと思いました。具体的に何をするのかと

いうと、困っている人がいたら声をかけたり、席をゆずるという事を少しづつやっていきたいと私は思いました。そして、高齢者が安心できる社会を作っていきたいです。